

宮城県北部地域養殖復興プロジェクト計画書
 (志津川支所戸倉地区カキ・ワカメ・ホタテ部会)

地域養殖復興 プロジェクト名称	宮城県北部地域養殖復興プロジェクト		
地域養殖復興 プロジェクト運営者	名 称	宮城県漁業協同組合	
	代表者名	代表理事理事長 小野 喜夫	
	住 所	宮城県石巻市開成 1 - 2 7	
計 画 策 定 年 月	平成 2 4 年 2 月	計 画 期 間	平成 2 4 年 2 月～ 平成 2 7 年 3 月 *平成 2 4 年 2 月から 3 漁期 の収穫・販売が完了する平成 2 7 年 3 月を想定

1 目 的

志津川支所は、宮城県北部に位置し、カキ・ホタテ・ワカメ・ホヤ・ギンザケ等の養殖が盛んで、当該地域の主力産業になっている。しかしながら、東日本大震災に伴う、津波により、養殖施設及び水産物並びに陸上の養殖施設は壊滅的な被害を受けた。その中で当地域の主要養殖であるカキ・ワカメ・ホタテ業者96経営体が協業体を組織し、共同による養殖資材の購入、生産管理及び品質管理の徹底を図る。また漁場環境を整備することで持続可能な養殖漁場を作り漁業経営の安定を目指す。

2 地域養殖復興プロジェクト参加者等名簿

○宮城県北部地域養殖復興協議会

	所 属	役 職	氏 名
養殖関係	宮城県漁業協同組合	理事	阿部 誠
養殖関係	宮城県漁協気仙沼総合支所	運営委員長 (会長)	佐々木 憲雄
養殖関係	宮城県漁協気仙沼総合支所	支所長	菊地 清
地方公共団体	宮城県気仙沼地方振興事務所 水産漁港部	技術次長 (会長代理)	湯澤 麻美
地方公共団体	気仙沼市産業部水産課	課長	鈴木 誠
地方公共団体	南三陸町産業振興課	課長	高橋 一清

○宮城県漁協志津川支所戸倉地区カキ・ワカメ・ホタテ部会

	所 属	役 職	氏 名
養殖関係	宮城県漁協志津川支所	副運営委員長	高橋 源一
養殖関係	宮城県漁協志津川支所戸倉地区 カキ養殖生産部会	部会長	後藤 清広
養殖関係	宮城県漁協志津川支所戸倉地区 ワカメ養殖生産部会	部会長	須藤 哲夫
養殖関係	宮城県漁協志津川支所戸倉地区 ホタテ養殖生産部会	部会長	佐々木 和志
地方公共団体	宮城県気仙沼地方振興事務所水産漁港部	技術主査	伊藤 貴範
地方公共団体	宮城県南三陸町産業振興課	水産業振興係長	太齋 彰浩

3 震災前の養殖業の概要

志津川支所は、宮城県北部に位置し、カキ・ホタテ・ワカメ・ホヤ・ギンザケ等の養殖が盛んな地域である。主な水揚げとしては、平成21年度でカキ養殖が5.1億円ワカメ養殖が4.8億円ギンザケ養殖が13.1億円となっている。その他漁船漁業などは刺し網漁業が盛んで、9.8億円の水揚げ高となっている。

また、志津川支所は、戸倉地区、志津川地区と分かれている。養殖種類はカキ・ホタテ・ワカメ・ホヤ・ギンザケなどが主たる養殖種類であり、戸倉地区では主にカキ養殖が2.6億円、ワカメ養殖3億円、ホタテ養殖8千万円の水揚げがあった。

・震災前の施設等の状況

施設名	所有者(個人・共同利用の別)	規格	施設数
養殖施設	個人所有	別紙1-1 カキ	カキ 56名 768台
		別紙1-2 ワカメ	ワカメ96名 777台
		別紙1-3 ホタテ	ホタテ30名 88台
陸上施設	共同利用(宮城県漁協所有)	波伝谷共同カキ処理場 881.68㎡	1棟
		津の宮共同カキ処理場 240,83㎡	1棟
	個人所有	ワカメ作業場 (ボイル) 20㎡	50棟
		(乾燥) 30㎡	10棟
作業船	個人所有	10トン未満船漁船	187隻

4 被災状況

施設名	規格及び数量	被害金額	被災内容
養殖施設	カキ 延縄式100mダブル	249,600千円	全量流失
	ワカメ 延縄式100mダブル	71,873千円	全量流失
	ホタテ 延縄式100mシングル	34,452千円	全量流失
	(小計)	(355,925千円)	
陸上施設	共同カキ処理場 2棟	51,970千円	全損
	ワカメ作業場 (ボイル) 50棟	100,000千円	全損
	(乾燥) 7棟	35,000千円	全損
	(小計)	(186,970千円)	
作業船	10トン未満船 139隻	274,720千円	全損
養殖生産物	カキ 768台分	192,000千円	流失
	ワカメ 777台分	64,258千円	流失
	ホタテ 88台分	739,220千円	流失
	(小計)	(330,178千円)	
合計		1,147,793千円	

5 計画の内容

(1) 共同化の取り組み

共同化による養殖・生産を行うことから以下の取り組みを通じ、消費者に安定した品質の生産物を提供する。

① 生産加工の共同化

生産及び加工における省力化を目指し、メンバーによる作業の分業化により労働の効率化、製品の統一化が、図られる。

② 品質向上の取り組み

施設の適正配置による漁場の有効利用や施設間隔を広げることによる良い製品作りに向けた管理が容易となり品質向上が図られる。

③ 生産管理の取り組み

個人出荷から全量組合出荷となることから、共同化による集荷、検査のスピード化、共販体制の強化が図られる。

④ JF 志津川支所ブランド化の確立

志津川湾は、宮城県産の主要産地であることから、品質・出荷サイズを統一化し良い製品作りを徹底し、一層のブランド化の確立を図る。

(2) がんばる養殖復興支援事業の活用

- ・事業実施者 : 宮城県漁業協同組合
- ・生産契約先又は契約養殖業者名 : 別紙の通り
- ・実施年度 : 平成23年度～平成26年度

・取り組みスケジュール

	期間	23年	24年	25年	26年	27年
検討期間	23年12月～24年2月	---				
事業期間 1	24年 2月～24年12月		—			
事業期間 2	25年1月～26年5月			—		
事業期間 3	25年11月～27年3月				—	

* 養殖種類別は、別紙の通り

(3) 施設復興計画

施設名	所有者 (個人・共同の別)	規 格	震災前	復興			活用する事業名
				1年目	2年目	3年目	
養殖施設	共同利用 (宮城県漁協 所有)	カキ 100m ダブル	768 台	90 台	350 台	350 台	水産業共同利用 施設復旧支援事 業
		ワカメ 100m ダブル	777 台	1,208 台	1,208 台	1,208 台	
		ホタテ 100m シングル	88 台	42 台	84 台	84 台	
陸上施設	共同利用(宮城 県漁協所有)	共同カキ 処理場	2棟	2棟	3棟 (内、仮設 1棟含む)	3棟 (内、仮設 1棟含む)	水産業共同利用 施設復旧整備事 業
	共同利用(宮城 県漁協所有)	ワカメ 作業場	なし	13棟	13棟	13棟	水産業共同利用 施設復旧整備事 業
	個人所有	ワカメ 作業場	60棟	3棟	3棟	3棟	
作業船	個人所有船	10トン未満 船漁船	187 隻	48 隻	48 隻	48 隻	共同利用漁船等 復旧支援対策事 業または個人購 入
	共同利用船		0 隻	12 隻	120 隻	120 隻	

(4) 生産量及び経営体数

項目	震災前	復興1年目	2年目	3年目
生産量 (トン)	計 (2, 406)	(3, 114)	(3, 447)	(3, 377)
カキ	224	63	245	175
ワカメ	1, 865	2, 900	2, 900	2, 900
ホタテ	317	151	302	302
生産金額 (千円)	計 (638, 042)	(734, 716)	(991, 219)	(915, 969)
カキ	259, 840	75, 600	294, 000	218, 750
ワカメ	298, 368	621, 014	621, 014	621, 014
ホタテ	79, 834	38, 102	76, 205	76, 205
経営体数	96経営体	96経営体	96経営体	96経営体

(5) 復興に必要な経費

全体（単位：生産量はトン、その他は千円）

	震災前の状況	復興1年目	2年目	3年目
収 入	(697,628)	(734,716)	(991,219)	(915,969)
生産量（トン）	(2,406)	(3,114)	(3,447)	(3,377)
カキ	224	63	245	175
ワカメ	1,865	2,900	2,900	2,900
ホタテ	317	151	302	302
生産額(千円)	(638,042)	(734,716)	(991,219)	(915,969)
カキ	259,840	75,600	294,000	218,750
ワカメ	298,368	621,014	621,014	621,014
ホタテ	79,834	38,102	76,205	76,205
その他収入	(59,586)			
経 費	695,854	728,916	1,040,486	879,491
支払金利	0	0	0	0
損害保険料	18,751	5,800	18,500	15,316
公租公課	14,711	7,631	16,846	0
漁業権行使料	4,978	2,944	4,152	4,480
共済掛金	9,268	10,383	17,035	12,931
人件費	355,000	500,000	516,000	500,000
その他経費	28,447	33,931	44,414	112,334
水道光熱費	13,554	12,637	18,975	17,500
種苗代	(42,608)	(18,876)	(47,012)	(19,471)
カキ	28,800	8,100	31,500	3,959
ワカメ	3,885	6,040	6,040	6,040
ホタテ	9,923	4,736	9,472	9,472
えさ代	0	0	0	0
養殖用資材代	85,704	35,477	99,336	57,110
修繕費	47,175	10,958	54,682	20,000
販売費	38,929	40,140	55,235	62,813
減価償却費	35,257	37,800	48,198	2,259
施設利用料	1,472	12,339	100,101	55,277
収 支	1,774	5,800	▲49,267	36,478
償却前利益	38,503	55,939	99,032	94,014

《養殖の生産方法》

過去の過密養殖による生産性悪化の教訓から、養殖漁場の再建を取り組み養殖施設の削減を実行致します。施設が減った分は、個々の競争ではなく、協業化の導入などによって公平な生産体制の確立を行い、全ての養殖種類で1年での収穫が可能となる。

カキ・・・これまでの、カキ漁場は施設と施設の間が密集し、船の出入りが難しいほどでした。漁場の行使を大幅に見直し、養殖施設の間隔を広くとり、潮通しをよくすることから品質の良い製品作りに取り組む。また「森は海の恋人」といわれるように、カキ養殖にとって森林は重要な水の供給源であることから、宮城生協や森林関係者、漁業者などが協力し、これまで以上に植林等を積極的に実施する。トレイサビリティーシステムの整備も充実させ、消費者に対し食の安心、安全に努める。

ワカメ・・・宮城県産ワカメの主要産地であることから、徹底した品質管理を行い、異物混入の防止、変色防止等に積極的に取り組み、南三陸ワカメのブランド化確立を図る。これまでは、作業形態上生ワカメでの出荷が多かったが、復興後は全量ボイル共販か乾燥ワカメでの出荷を目指し、付加価値を高めた養殖生産に改善し、水揚げ金額の大幅な増額を目指す。

ホタテ・・・北海道から半成貝を導入するとともに、カキと同様に養殖施設の間隔を広くとり、漁場環境を改善し、水揚げ金額の大幅な増額を目指す。

《経費等の考え方》

戸倉地区参加経営体の税務申告書類（平成21年分）、宮城県作成の「カキ養殖業の復旧・復興に向けた協業化モデル（案）」「ワカメ養殖業協業化・共同化モデル」「ホタテガイ養殖業の復旧・復興に向けた経営モデルの検討（案）」、農林水産統計「漁業経営調査」及び支所共同販売記録等を参考に作成しました。

- 損害保険料・・・共同利用船の漁船保険組合に対する保険掛け金を算出し計上。
- 漁業権行使料・・・施設1台あたりの行使料を算出し計上。
- 漁業共済掛金・・・漁業共済に対する施設1台あたりの掛け金を算出し計上。
- 人件費・・・経費控除後の収益により、事業内容・規模により算出し計上。
- 販売費・・・水揚げ全量に対する共同販売委託手数料（5.25%）を算出し計上。
- 施設利用料・・・生産に係る施設設置費用を算出し、2年目・3年目を考慮し計上。

区分	H24	H25	H26
共同利用漁船	10隻	132隻	132隻
共同作業施設			
(カキ処理場)	2棟	2棟	2棟
(ワカメ施設)	13棟	13棟	13棟
養殖施設	1,340台	1,642台	1,642台

- ・整備時期については、復興1年目から整備をしたいが、国等の補助事業を導入するため、復興2年目から本格整備となる。特に漁船は必要隻数を申請しているが、造船所の都合で、そのほとんどが復興2年目以降になる。

6 復興後の目標

(1) 生産目標

	震災前			10年後	
養殖施設数	カキ	768台	➔	カキ	350台
	ワカメ	777台		ワカメ	1,208台
	ホタテ	88台		ホタテ	84台
陸上施設数	カキ処理場	2棟	➔	カキ処理場	2棟
	ワカメ作業場	60棟		ワカメ作業場	57棟
養殖業者数	96経営体			96経営体	
常時養殖従事者数	141人			141人	
臨時雇用者数					
生産量	2,406トン			3,447トン	
生産金額	638,042千円			991,219千円	

(2) 生産体制

従来、養殖施設及び加工施設は個人所有が多く、漁業者毎に生産・加工を行い、組合共販を主として販売してきた。今後この養殖復興プロジェクト事業を通じ漁協が整備した共同利用施設を使用し、共同による生産管理、品質管理、全量漁協販売を徹底することにより、持続可能な養殖漁場・漁家漁業経営の安定化、漁協経営の安定化を目指していく。

7 復興計画の作成に係る地域養殖復興プロジェクト活動状況

実施時期	協議会・部会	活動内容・成果	備考
平成24年 1月30日	第1回 北部地域養殖復興協議会	・ 会長の選任 ・ 運営事業実施計画について	
平成24年 1月30日	第1回 志津川支所戸倉地区カキ・ワカメ・ホタテ部会	・ 部会長の選任 ・ 養殖復興計画の検討、承認について	
平成24年 1月30日	第2回 北部地域養殖復興協議会	・ 養殖復興計画の検討、承認について	
平成24年 10月19日	第5回・6回北部地域養殖復興協議会	・ 養殖復興計画の変更、承認について	
平成25年 10月18日	第12回 北部地域養殖復興協議会	・ 養殖復興計画の変更、承認について	
平成26年 11月13日	第16回 北部地域養殖復興協議会	・ 養殖復興計画の変更、承認について	